

授業科目 助産学実習 I

【担当教員名】 下山 博子 他		対象学年	4	対象学科	看護（助産師コースのみ必修選択）	
		開講時期	前期	必修選択	選択	
		単位数	1	時間数	45	
【ディプロマポリシーとの関連性】						
知識・理解		思考・判断		関心・意欲		
◎		◎		◎		
【概要・一般目標：G10】 妊産褥婦、胎児、新生児およびその家族に対して、助産の基礎知識、技術、態度を統合して活用し、助産過程を展開することによって助産に必要な基礎的能力を養う。						
【学習目標・行動目標：SBO】 1. 助産過程を用いて必要な看護を考察し、実践する。 2. 継続受け持ちケースの妊婦健診ならびに保健指導を実践する。 3. 産褥期および新生児期（退院後も含む）の保健指導を実践する。						
回数	授業計画・学習の主題				SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1～	実習施設において、妊娠期（胎児期）から産褥期、新生児期まで1例を継続して受け持ち、助産過程を展開し看護を実践する。 継続受け持ちケースの妊婦健康診査と保健指導 継続受け持ちケースの産褥期・新生児期の保健指導				1、2、3 1、2 1、3	担当：下山 博子 他 担当：下山 博子 他 担当：下山 博子 他
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>	
教科書 (必ず購入する書籍)		助産師基礎教育テキスト 第4巻 妊娠期の診断とケア	森恵美	日本看護協会出版会	2013・3,600円＋税	
		助産師基礎教育テキスト 第5巻 分娩期の診断とケア	町浦美智子	日本看護協会出版会	2013・3,600円＋税	
		助産師基礎教育テキスト 第6巻 産褥期のケア 新生児期・乳幼児期のケア	横尾京子	日本看護協会出版会	2013・3,600円＋税	
参考書		助産学講座5 助産診断・技術学 I	堀内成子	医学書院	2013・3,800円＋税	
その他の資料		助産学実習要項				
【評価方法】 看護実践内容（保健指導評価表）50％程度 実習記録（助産過程評価表）50％程度			【履修上の留意点】 実習内容の詳細については、実習オリエンテーションにて確認すること			